

# 国際関係論に関する参考文献

土井 翔平 \*

2026年6月24日

## 1 全般

この授業では特定の教科書は用いないが、自学自習のためにいくつかの参考書を紹介する。ただし、国際関係論のテキストは多種多様なので、ぜひここで挙げているもの以外にもいろいろと読み比べてほしい。いきなり一冊の教科書を読むのは面倒という場合は、政治学の教科書（例えば砂原他 (2020) や坂本・石橋 (2020) など）の中にある国際関係の章を読むと良い。入門レベルの教科書としては村田他 (2023)、中級レベルとしては草野他 (2023) や多湖 (2024) などが挙げられるが、これらに限られるものではない。より高度な教科書としては中西他 (2013) や山影 (2012) などもある。また国際政治の重要事項に関して辞書的に利用できるものとして田中・中西 (2010) がある（ただし、やや古い点に注意）。国際関係論に関して卒業論文を執筆したい、あるいは大学院に進学したいと考えている場合は英語の教科書として Frieden et al. (2026) や Baylis et al. (2026) などをおすすめする。

また、国際関係を理解するためには国際関係史、国際法、比較政治学といった隣接分野の知識も必要である。これらについても様々なテキストがあるが、国際政治史であれば小川他 (2018) が定評のある入門書である。国際法の入門書としては玉田他 (2022) があり、北村他 (2025) は身近なテーマから国際法について平易に説明してくれる。比較政治学の入門書としては、民主主義国について伊藤他 (2025)、非民主主義国について久保他 (2025) がある。この他にも国際関係論や政治学を理解する上でゲーム理論や計量分析の知識が有用になる局面はあるが、これらは後述する。

---

\* 北海道大学大学院公共政策学連携研究部 准教授. E-mail: [sdoi@juris.hokudai.ac.jp](mailto:sdoi@juris.hokudai.ac.jp)

## 2 国際社会

## 3 安全保障

## 4 国際政治経済

## 5 ゲーム理論

## 6 計量分析

### 参考文献

Baylis, John, Steve Smith, and Patricia Owens (2026) *The globalization of world politics: An introduction to international relations*: Oxford university press.

Frieden, Jeffrey A, David A Lake, Kenneth A Schultz, Susan D Hyde, and Stephanie J Rickard (2026) *World politics: interests, interactions, institutions*: WW Norton.

中西寛・石田淳・田所昌幸 (2013) 『国際政治学』, 有斐閣.

久保慶一・末近浩太・高橋百合子 (政治学) (2025) 『比較政治学の考え方 = Introduction to comparative politics』, 有斐閣ストゥディア, 第新版版, 有斐閣.

伊藤武・作内由子・中井遼・藤村直史 (2025) 『民主主義の比較政治学』, y-knot, 有斐閣.

北村朋史・田中佐代子・若狭彰室・藤澤巖・森肇志 (2025) 『国際法で世界がわかる : ニュースを読み解く 33 講』, 第新版版, 岩波書店.

坂本治也・石橋章市朗 (2020) 『ポリティカル・サイエンス入門』, 法律文化社.

多湖淳 (2024) 『国際関係論』, アカデミックナビ, 勁草書房.

小川浩之・板橋拓己・青野利彦 (2018) 『国際政治史 : 主権国家体系のあゆみ』, 有斐閣.

山影進 (2012) 『国際関係論講義』, 東京大学出版会.

村田晃嗣・君塚直隆・石川卓・栗栖薫子・秋山信将 (2023) 『国際政治学をつかむ』, 第第 3 版版, 有斐閣.

玉田大・水島朋則・山田卓平 (2022) 『国際法』, 第第 2 版版, 有斐閣.

田中明彦・中西寛 (2010) 『新・国際政治経済の基礎知識』, 第新版版, 有斐閣.

砂原庸介・稗田健志・多湖淳 (2020) 『政治学の第一歩』, 第新版版, 有斐閣.

草野大希・小川裕子・藤田泰昌 (2023) 『国際関係論入門』, 学問へのファーストステップ, ミネルヴァ書房.